

Licht Kreis 高田三郎作品による リヒトクライス第25回演奏会



高田三郎
(作曲家 1913-2000)



リヒトクライス

混声合唱団コーロ・ソフィア／女声合唱団コーロ・コスモス／しおさい／大井しらゆりコーラス／筑波大学混声合唱団／「心の四季」の輪

1992年、鈴木茂明の指揮する5団体が高田三郎作品の精神と芸術性に共鳴して結成。以来、2000年に帰天されるまで毎年作曲者自身の指導を受け、高田作品の個展としての演奏会を開催し、25回目を迎える。「リヒト」はドイツ語で「光」を、「クライス」は同じく「輪」を意味する。プログラムは混声・女声・男声合唱曲、典礼聖歌、室内楽曲、オルガン曲、ピアノ曲など多岐にわたり、高田作品の真髄を味わえるとの評価は高い。

作曲家高田三郎とリヒトクライスの活動

「リヒトクライス」は高田三郎の作品を歌う目的で、声楽家で合唱指揮者の鈴木茂明を音楽監督として、彼が指揮を務める2つの混声合唱団（「コーロ・ソフィア」、「筑波大学混声合唱団」）と3つの女声合唱団（「コーロ・コスモス」、「しおさい」、「大井しらゆりコーラス」）によって1992年に結成、26年の歴史をもつ。20年以上にわたって、高田より指揮法と演奏法を学んだ鈴木を軸とし、高田の長女高田江里を筆頭に、高田作品を演奏してきたピアニストやオルガニストを共演者に迎え、高田の作品のみを演奏してきた。既に高田の合唱曲の大半を演奏、220曲にもものぼる典礼聖歌の分野や器楽作品への取り組みも注目である。主要作品については繰り返して演奏することで一層の深みを増している。このようにただ一人の作曲家の作品だけを演奏する団体は希少であり、高田の深淵なる世界を表現しようと追求する姿勢もおおいに評価したい。

高田三郎の音楽は無駄な音のひとつもない洗練された書法によって、聞き手の心に直接訴えかける。とりわけ声楽曲では詩に対する高田の純粋なまなざしや鋭敏な洞察力に加え、事物や事象の真理を希求する作曲家の思考も感じられ、普遍的で、ときに宗教的かつ哲学的でもある。その世界に傾倒する鈴木が指揮するリヒトクライスの演奏にはひとつひとつの言葉に対する意識や細やかな表情の一致などによって、言葉と音楽の密接な結びつきが感じられる。作品についての本質的な理解に基づく表現が一体となってなされたとき、聞き手を深い境地へと導くことであろう。

菅野泰彦（音楽評論家）



高田三郎作品によるリヒトクライス 25回記念盤

ライブ音源ベストセレクション 2019年2月2日発売予定

[Disc 1]

混声合唱曲「わたしの願い」／男声合唱組曲『戦旅』／混声合唱組曲「心象スケッチ」／女声合唱組曲「マリアの歌」／混声合唱組曲「内なる遠さ」／混声合唱曲「くちなし」

[Disc 2]

混声合唱組曲「水のいのち」／混声合唱とピアノのための『イザヤの預言』より「神は仰せになる」「主である神の霊はわたしの上にある」／混声合唱とピアノのための 預言書による「争いと平和」より「わざわざいなるかな血を流す町」／混声合唱とピアノのための「ヨハネの福音」より「一粒の麦が地に落ちて」「初めにみことばがあった」／混声合唱のための「典礼聖歌」より「元后あわれみの母」「いつくしみと愛」「アッシジの聖フランシスコによる 平和の祈り」／混声合唱組曲「L'Anima dell'acqua」（「水のいのち」イタリア語版）

予定価格 3500円